

## 06. まちづくり提案

### 歩道の拡張について

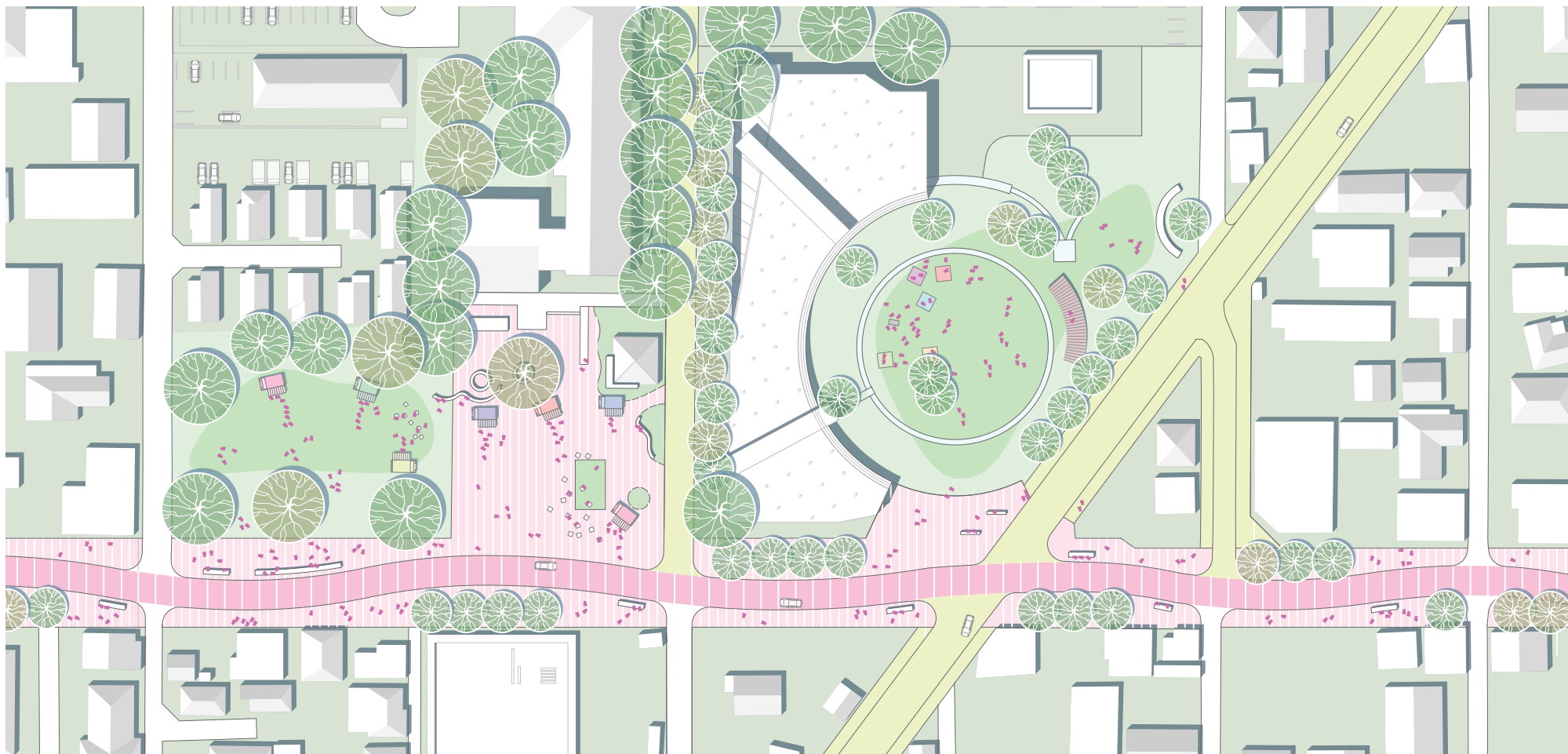
歩行空間を優先とし、車のスピードを抑えた変化のある道路へと変えていきます。



現在、県道春日部久喜線から商工会までの幅員は18mであり、車道幅員は10m、歩道幅員は片側4mあります。この区間の歩道部分を、最低4m確保した上で、最大7mまで広げた部分と共存させると、道路空間にうねりが出て存在することになります。歩行空間を優先とし、車のスピードを抑えた変化のある道路へと変えることができます。また、バスの運行など、日常的に頻繁に活用する車道を(都)東武動物公園駅西口通り線に変更することで、駅前通り線がより歩道空間として使用しやすい状況になります。そうすることで、大規模なイベント時には、駅前通り線の一部を歩行者天国とすることもできそうです。

## 広場とのつながり

広場はゆるやかに歩道（歩行者空間）とつながります。



広場と歩道をあいまいな境界とすることで、広場で行われているイベントが歩道にまでにじみ出し、音や匂い、雰囲気が通りとゆるやかにつながり宮代町全体に広がっていきます。まずはスキップ広場で定期的に行われているマルシェなどを通して道路の活用の可能性を周知することで、通り全体が日常的にも「人々が集い、憩い、多様な活動が繰りひろげられる場」へと変わっていきます。